

ジェンダーの問題と
どう向き合っ
てきましたか。

僕がNHK（日本放送協
会）に入局したのはちよう
どバブル末期の頃でした。
当手を振り返ると、男女雇
用機会均等法の制定（昭和
60年）を機に「女性は一般
職、男性は総合職」という
垣根が取り払われ、女性に
もキャリアステップが開か
れ始めた頃でした。

時代の変遷とともにジェ
ンダーに関わる報道のあり
方も大きく変わりました。
以前は何気なく使われてい
た表現が、今はSNSなど
で「炎上」して議論を巻き起
こします。それほどまでにメ
ディアが社会に与える影響
は大きく、ジェンダーや多様
性に配慮した内容や構成で
あることが必須になってい
ます。僕自身も日々気付き
があります。例えば、女性2

巻頭インタビュー

アナウンサー

武田 真一 さん

Shinichi Taketa



Profile

元NHKエグゼクティブ・アナウンサー。平成2年、NHK入局。正午の「NHKニュース」、「NHKニュース7」、「クローズアップ現代+」等を担当。早期退職した後、令和5年からフリーアナウンサーとしての活動を開始。現在、日本テレビの情報番組「DayDay。」にレギュラー出演中。

